



学校だより

令和2年10月30日
横浜市立豊田小学校
11月号

開く つなげる ともに

豊田小学校ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/toyoda/>

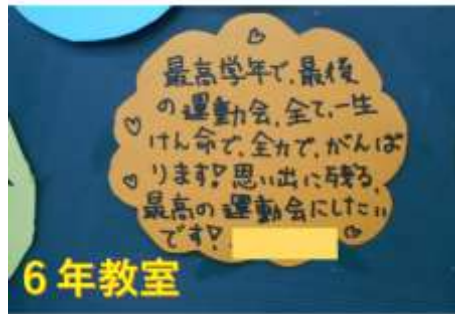
心震えた閉会式での代表児童の言葉

学 校 長

豊田小学校運動会

テーマ

「豊田小の心を
一つに全力で楽しもう
～2020～」



閉会式（テレビ）での代表児童の言葉（抜粋※）

「ぼくたち6年生にとって、今回の運動会は、小学校生活最後の特別で最高の運動会になるはずでした。けれども、新型コロナウイルスの影響で、ぼくたちの最後の運動会は大きく形を変えることになってしまいました。紅白2色に分かれて、優勝を目指して競い合うことも、声を張り上げ、力の限り応援することも、なかよし学年ペアでの競技や代表リレーもなくなってしまいました。・・・全校児童が一度にそろうことの許されない運動会では、最高学年としてがんばる姿を下級生に見せることすらできませんでした。

・・・しかし、今日の運動会のために、6年生の中で係の役割分担をしていたとき、クラスの仲間たちが、とても前向きに運動会に向き合っていることに気がつきました。・・・誰のせいでもないことで形は変わってしまったけれど、どんな形でもぼくたち6年生にとっては、小学校生活最後の運動会です。・・・クラスや学年の仲間たちと息を合わせて演技や競技をつくっていくことや、当日演技や競技を終えて味わえた達成感は、これまでの運動会と変わりません。今日という日は、小学校最後の1年間の大切な思い出の1ページとなりました。

みんなと力を合わせて、一つの目標に向かって努力し、それを達成することで喜びを得るといふ今回の経験は、何もかも新しく変わっていくこれからの様々な場面で、『今、自分達に何ができるか』と考えながら、前を向いてチャレンジしていくための大きな自信につながりました。・・・みなさんも、今回の運動会で感じたことを大切に育てて、豊田小学校を今よりもっと良い学校へと進化させていってほしいと思います。」

閉会式では、この代表児童の言葉を受けての校長の挨拶となりました。

私は、最初に「代表児童の言葉に心震えました」と全校児童に静かに語りかけました。

今回のコロナ禍の中で大きく限られた制約の中でも、自分たちの運動会をつくり上げようと工夫と努力を重ね、今回のテーマである「豊田小の心を一つに全力で楽しもう」と、その言葉通りの運動会が立派に出来たこと、どの学年も100点満点であったこと、そして、私にとって自慢の豊田小学校の子どもたちであることを伝えました。

この閉会式後、この日を新たなスタートラインとして、これからも子どもたちと一緒に、希望と勇気をつくりだしながら力強く歩むことを改めて深く決意したのでした。

※ 閉会式での代表児童の言葉の全文は、10月23日付けの学校HP「校長室から皆様へ」に掲載しています。